

「誰もが住み続けたいと思える地域の実現」をめざす

社会福祉法人
中津川市社会福祉協議会

所在地	中津川市かやの木町
代表者	会長 加藤 出
従業員数	242人
業種	社会福祉事業
活動開始	平成18年
活動エリア	中津川市内

主な活動内容

- 見守り活動・防犯パトロール
中津川市内の当会本所及び5支所において、介護保険事業や障害福祉サービス事業などでの利用者送迎時、訪問活動時に、当会の事業用車両（約90台）が稼働し、地域の様子に注意を払いながら子どもや高齢者の見守り活動、防犯パトロールを実施しています。
- 地域生活あんしん事業
当会の地域福祉事業として市内15地区に住民主体による小地域福祉活動を推進する社会福祉協議会支部を組織し、15支部で「地域生活あんしん事業」として、子どもの登下校時の見守り活動や詐欺被害などの防犯活動、防災に関する活動などを展開。また、こうした活動を推進する地域福祉推進員を養成するため詐欺被害防止の研修会などを行っています。
- 情報紙の配布
市内の民生委員の協力により、ひとり暮らしの高齢者などへ、暮らしや福祉サービスなどに関する情報提供と見守り活動を目的とした情報紙「ふれあい通信」を配布しています。（年6回発行、3,200部/回）



▲中津川市社会福祉協議会・坂本支部
地域福祉推進員研修会

活動をはじめた経緯

平成18年に中津川市が「安全安心まちづくり条例」を制定したことを受け、地域安全活動に貢献するため活動を開始しました。

地域安全活動を実施し「安全安心のまちづくり」を行うことは、当会の理念である「誰もが住み続けたいと思える地域の実現」をめざすことと合致するため、活動を積極的に推進しています。



▲中津川市社会福祉協議会・東支部
地域福祉推進員研修会

工夫したこと・特色

地域福祉を推進する中核として、地域住民のみなさんにご理解とご協力をいただきながら取り組んでいます。

活動の成果、今後について

見守り活動、防犯活動に取り組むことにより、危険の発生を未然に防ぐことができました。また、地域の方からの情報を受け、福祉サービス提供につなげています。



▲中津川市社会福祉協議会・阿木支部
地域福祉推進員研修会

